

ツアー番号
LK4KGHMTB9

Sri Lankaの宝石（16日間）

15日間・14泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この16日間のプライベートツアーは、ネゴンボの西海岸ビーチから南部の野生動物公園を経由し、エッラとヌワラエリヤ周辺の山岳地帯へ向かい、文化の中心地であるキャンディと古都のダンブッラおよびシギリヤを経て、最終的には東のトリンコマリーへ向かい、数日間のビーチステイの後、コロンボに戻るコースです。Sri Lankaの最も有名な文化遺産とともに、国立公園、紅茶地帯、海岸での時間を組み合わせた、長く多様なルートとなっています。



旅行者はヤラでのサファリドライブでヒョウ、象、ナマケグマを探し、エッラ近くのナインアーチブリッジでのハイキング、景観に優れたエッラからヌワラオヤへの列車の旅、ホートンプレイン山とワールズエンド、ヌワラエリヤ周辺の茶園訪問、キャンディの聖歯堂と王立植物園、ダンブッラの洞窟寺院、シギリヤロック要塞、トリンコマリーのビーチおよびピジョン島での数日間、そしてクジラウォッチングを楽しむことができます。ペースは急がず、いくつかの固定滞在により、各地域でゆっくり過ごす時間が設けられており、観光地間を急いで移動することはありません。

このツアーはプライベート車両を使用して英語を話す運転手ガイドにより全行程を通じて実施され、その宿泊料金は税金およびサービス料金とともに含まれています。入場料、ビザ費用および個人的な経費は別途手配され、旅行者の最低年齢は11歳です。完全なプライベート日程として、共有グループはなく、スケジュールはお客様に合わせて柔軟に対応できます。

日程詳細

1日目 空港 → ネゴンボ

旅はまず西海岸のネゴンボから始まります。長く続く砂浜と古くからの漁業の伝統で知られる街です。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜を楽しみながら、何世紀も続く漁業の様子を見学しましょう。マリンスポーツやダイビングも楽しめ、沖合に沈む50年前の沈没船を訪れるツアーもあります。今では多くの種類の魚が生息する人気のダイビングスポットです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → ヤーラ

朝食後、南部のヤーラへ移動し、サファリに備えてのんびりとした午後を過ごします。

3日目 ヤーラ

南部での野生動物サファリと、エッラ周辺の見どころを巡る半日観光を組み合わせた一日です。



ヤーラ国立公園

Sri Lanka南東部に位置し、国内で2番目に大きい国立公園であるヤーラで、3時間のサファリを体験します。Sri Lankaヒョウ、野生のスイギュウ、ナマケグマ、そして大群で行動するゾウなど、多くの哺乳類や鳥類、爬虫類、両生類に出会うチャンスです。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0



エッラ

鮮やかな緑の茶畑や岩肌の多い地形を抜けながらエッラを散策し、リトル・アダムズ・ピークの景色を楽しみます。ナイン・アーチ・ブリッジを歩いて渡り、その建設にまつわる物語を聞いた後、ループ構造が特徴的なデモダラ駅でハイキングを終えます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

4日目 エッラ → ヌワラエリヤ

丘陵地帯を抜けて、かつて英国の避暑地だったヌワラエリヤへ向かいます。道中では景色の美しい鉄道の旅も楽しめます。



ヌワラエリヤの町

19世紀から20世紀初頭にかけて大英帝国屈指の高原避暑地として栄えた町を歩き、コテージ風の家々や趣のある別荘、古い邸宅が並ぶ街並みを楽しみます。赤レンガの古い郵便局を訪れ、クイーンズ・ヴィクトリア・パークやグレゴリー湖のほとりでくつろぎましょう。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

エッラからナヌオヤへの鉄道の旅

エッラからナヌオヤまでの鉄道の旅では、Sri Lanka屈指の高原の絶景が広がります。車窓からは一面に広がる茶畑や、霧に包まれた山村、深い森、滝などを眺めることができます。

5日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

ホートンプレインズ国立公園への日帰り旅行を行い、その後ヌワラエリヤへ戻ります。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤにあるホートンプレインズの高原草地と雲霧林を探索します。「ワールズ・エンド」からの大パノラマや、ベイカーズ・フォールズの水しぶきを眺め、固有の動植物を観察し、この地域で発見された考古学的な遺物についても学びます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

6日目 ヌワラエリヤ → キャンディ

キャンディへ向かう道中、滝や茶園、植物園に立ち寄り、仏歯寺とゾウの福祉プロジェクトを訪れます。



ランボダの滝

国内で11番目に高い滝、ランボダ・フォールズを訪れます。

A.Savin · FAL

マックウッズ茶園

ガイド付きツアーでマックウッズ茶園を訪れ、茶の種類や加工方法、品質の等級について学びます。茶は1824年に初めて中国からセイロンに持ち込まれ、ペラデニヤの王立植物園に植えられました。その後1852年に到着したジェームズ・テイラーが、キャンディ近郊のルーレコンデラ茶園で商業的な茶栽培を確立しました。



ハッカラ植物園

木陰の続く並木道と色鮮やかな植栽が美しいハッカラ植物園を散策します。

Own work of Buddhika Mawella · CC BY-SA 3.0



グレゴリー湖

グレゴリー湖のほとりをゆったりと散歩します。

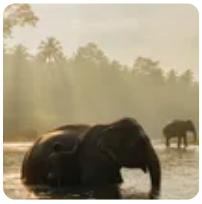
Rehman Abubakr · CC BY-SA 4.0



仏歯寺

この世界遺産は、ブッダの聖なる歯の遺物を安置し守るため16世紀に建てられました。赤、クリーム、黒で華やかに彩色された堂内を歩き、彫刻の施された柱や金色の仏像の間を巡ります。

A.Savin · FAL



ミレニアム・エレファント財団

ミレニアム・エレファント財団は、Sri Lanka全土の飼育ゾウの福祉向上に取り組む家族経営の非営利団体で、獣医療や食料、象使いの給与を支援し、移動式獣医ユニットも運営しています。ここでの「エレファント・ウォーク・エクスペリエンス」では、ゾウ乗りに代わる、ゾウに優しい体験を間近で楽しめます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

7日目 キャンディ

植物園を訪れ、夜には伝統舞踊を鑑賞するキャンディ滞在の一日です。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に開園した王立植物園には、広大な庭園内に4000種を超える植物が植えられており、ランや香辛料、薬草のほか、大砲の木、吊り橋、珍しい大木が並ぶ並木道などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



キャンディ伝統舞踊ショー

約1時間にわたり、ファイヤーダンサーや剣舞、太鼓の響きに合わせて踊るキャンディアン・ダンサーなど、Sri Lankaの伝統芸能を楽しめるショーです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

8日目 キャンディ → マータレー → ダンブッラ → シギリヤ

マータレーとダンブッラを経由して北へ向かい、スパイスガーデンを訪れ、ダンブッラの石窟寺院を見学した後、シギリヤへ到着します。



スパイスガーデン

スパイスガーデンで伝統的な料理デモンストレーションに参加し、ロティの作り方やカレーパウダーをゼロから作る方法を学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ダンブッラ黄金寺院

紀元前1世紀にまで遡る歴史あるダンブッラの石窟寺院へ入り、ブッダの生涯を描いた古代の壁画や、5つの主要な洞窟に点在する数百体の仏像や諸神の像を見学します。洞窟には「神聖王の洞窟」「大王の洞窟」「大新僧院」などがあります。石窟群の少し外側には巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

9日目 シギリヤ

午前中にシギリヤ・ロック要塞に登り、午後は近隣の村での暮らしを体験します。



シギリヤ・ロック要塞

カッサパ王によって5世紀に築かれたこの岩山要塞へ、この地に「獅子の岩」という名を与えたライオンの両足の間を通って登ります。有名な壁画を見学し、急な階段を登って段々畑状の庭園や今も使われている水槽を訪れ、かつての宮殿へ続く通路を歩きます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村の暮らし体験

下山後は近くの村を訪れ、静かな湖でのカタマラン・サファリや、水田を抜ける散策、蓮の葉の上に盛られた、薪火で作られた家庭料理の昼食を楽しみます。

10日目 シギリヤ → トリンコマリー

東へ向かい、トリンコマリーへ移動します。途中、古代寺院や町の要塞とビーチ、近隣の古代仏教遺跡を訪れ、ホエールウォッチングも楽しめます。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちにも讃えられ、世界的にも知られるこの古代寺院を訪れます。壁画にはその歴史が描かれています。境内の小さな洞窟祠堂は紀元前1580年に遡るとされ、本殿は紀元前400年頃から発展してきました。伝説によればこの地で礼拝したとされるラーヴァナ王を記念する巨大な像もあります。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



トリンコマリー要塞

1624年にポルトガル人によって築かれたこの要塞を訪れます。ポルトガル人によって破壊された元のコネスワラム寺院の石材や、後にオランダ人によって解体・再建されたフレデリック要塞の遺構も見られます。

Kondephy · CC BY-SA 4.0



ニラベリ・ビーチ

黄金の砂浜、揺れるヤシの木々、澄んだ青い海が広がるニラベリ・ビーチでくつろぎます。10世紀のタミル語碑文には、このビーチがコネスワラム寺院への土地寄進の一部であったことが記されています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ

古代にタミル仏教が信仰されていた村、ティリヤーヤを散策します。ブッダが二人の商人に髪の遺物を授けたという伝説の地に建てられたギリハドゥ・セーヤ・ストゥーパを訪れ、最後のヴァンニヤール首長の一人が築いた古い要塞も見学します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ホエールウォッチング

Sri Lanka沖の海域でシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを探します。資格を持つナチュラリストが同行し、種の識別を手助けしながら、環境に配慮した低負荷のホエールウォッチングツアーを行います。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

11日目 トリンコマリー

海沿いのピジョン島国立公園を探索する一日です。



ピジョン島国立公園

サンゴ礁に囲まれた大小2つの島からなるピジョン島国立公園を探索します。ここで繁殖するロックピジョンのほか、さまざまなサンゴの種類や海洋生物を観察できます。

AntanO · CC BY-SA 4.0

12日目 トリンコマリー(12〜14日目)

トリンコマリーのビーチで過ごす、のんびりとした3日間です。



トリンコマリーのビーチ

揺れるヤシの木々と澄んだ青い海が広がる、トリンコマリーの黄金の砂浜でのんびりと過ごします。

Kondephy · CC BY-SA 4.0

15日目 トリンコマリー → コロンボ

首都コロンボへ移動し、主要な名所やショッピングエリアを巡る観光を行います。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴールフェイス・ホテル、ゴールフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などの歴史的名所を見学し、独立広場やレースコース、街のブティックやデザイナーショップも楽しみます。

Gihanud2001 · CC0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Entry Visa Fees.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees.

Lakpura® · 料金・オプション・ご予約： www.lakpura.com/ja/products/jewels-of-sri-lanka-16-days
hello@lakpura.com · +94 11 574 7474